

新北九州市立八幡病院について

1. 新病院の名称について

これまでどおり「北九州市立八幡病院」とする

【理由】

現在の市立八幡病院という名称が地域に根付いていることや、全国的にも小児医療といえば市立八幡というイメージが定着していることから、名称は変更せず、これまでどおり「北九州市立八幡病院」とする。

なお、あわせて機能表示（サブ名称）を、

「救命救急センター」、「小児救急・小児総合医療センター」とする

【理由】

八幡病院の小児科においては、軽症から重症までの救急患者を24時間対応で受け入れることが特徴であった。新病院では、下記のとおり小児救急を含めた新たな機能を有することになるため、機能表示（サブ名称）を、「小児救急センター」から、「小児救急・小児総合医療センター」に変更する。

2. 新病院の新たな機能について

項目	内容
① PICU(小児専用集中治療室)の新設	<ul style="list-style-type: none">小児の重症患者を受け入れる集中治療室(8床)を新設小児救急及び集中治療担当の医師4名採用
② 無菌室の新設(小児病棟)	<ul style="list-style-type: none">血液疾患専用の治療病室を、小児病棟に10床を新設血液疾患担当の医師2名採用
③ ハイブリッド手術室の新設	<ul style="list-style-type: none">手術室7室のうち、1室に設置外傷や出血などの緊急症例に対し、手術と検査を同室内で迅速に実施するため、手術室内に血管造影装置とCTを設置
④ 救急処置室の拡大	<ul style="list-style-type: none">救急患者の受入機能を強化するため、救急処置室を、現状の4床から8床に拡大
⑤ ヘリポートの新設	<ul style="list-style-type: none">災害時や緊急時に、患者搬送を行うため、屋上にヘリポートを新設

3. 新病院開院までのスケジュール（予定）

H30年 9月末：竣工

10月～12月：医療機器搬入、スタッフトレーニング等

12月22日（土）：新病院移転日（入院患者移送日）

12月25日（火）：8時30分から一般外来再開

※受入停止期間の対応について、関係機関と協議中